

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県神戸市 三宮駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	50	

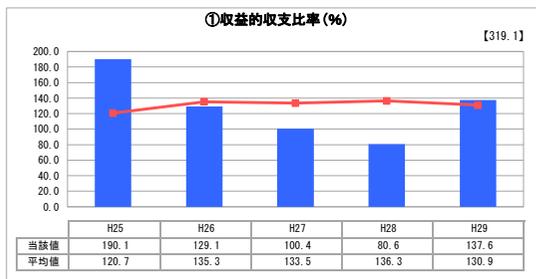
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	25,110
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
534	400	代行制

**グラフ凡例**

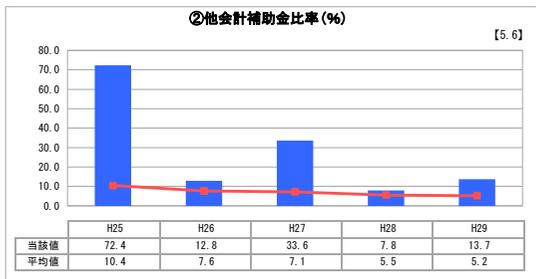
- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

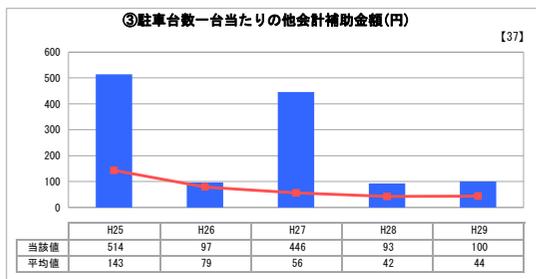
## 1. 収益等の状況



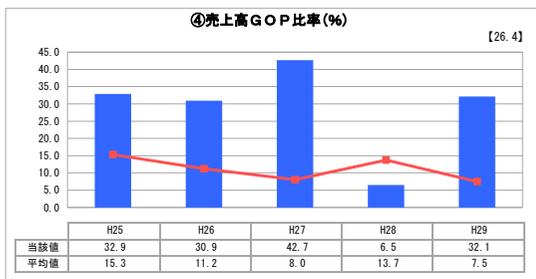
「経常損益」



「他会計補助金割合」

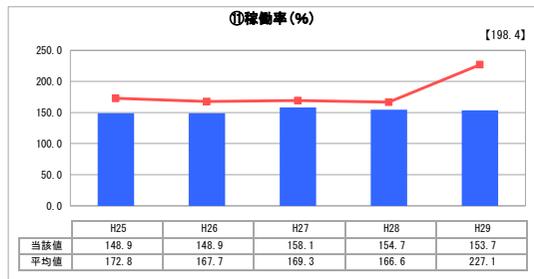


「他会計補助金額」

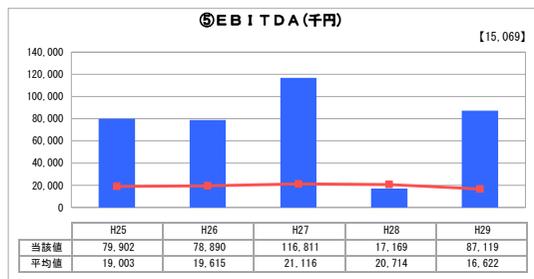


「売上高に対する営業総利益」

## 3. 利用の状況



「施設の効率性」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

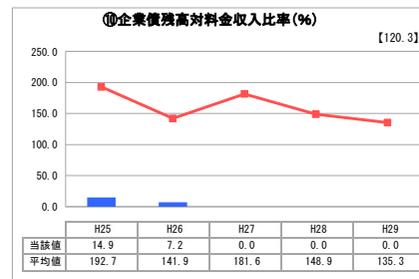
0

⑧設備投資見込額(千円)

1,484,638



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 ①収益の収支比率について、平成28年度は大規模修繕費の増加の影響で赤字に転じたが平成29年度は黒字である。また、④売上高GOP比率、⑤EBITDAは類似施設と比べても高く、長期的に見ると安定している。②他会計補助金比率は、平均よりもやや高い。

2. 資産等の状況について  
 駐車場の規模が最も大きいこと、供用開始から約50年が経過することから、⑧設備投資見込額は高いが、建設費(約60億円)に対する割合では他の駐車場と比較して小さい。今後の駐車場運営を行っていくにあたって、健全性を維持するためにも計画的な設備投資を行う必要がある。⑩企業債残高対料金収入比率は平成27年度より0となっている。

3. 利用の状況について  
 ⑩稼働率について、他の類似施設と比べると、下回っている状態である。周辺施設への営業活動等、引き続き指定管理者と連携しながら利用台数の増加を目指していく。

## 全体総括

都心部の駐車場であり、市営駐車場事業全体に与える影響は大きい。都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、引き続き指定管理者と連携しながら、収益の増加及び安定化を目指していく。